

そのルール、本当に必要？

流山市立南流山中学校 三年 伊藤 瑠菜

ツーブロック禁止、ワックス禁止。みなさんはこのルールにどんな感情を抱きますか。私は、簡潔にまとめると、「行き過ぎたルール」なのではないかと感じます。これらの校則は、現代の私たちと学校にどうあるべきなのでしょう。

以前、私は学校に一つ結びを高めめの位置で結んで登校して注意されたことがあります。私はそのとき、高い位置で結んだつもりはなかったため不満に思い、家に帰って理由を調べたところ、男子が興奮する、中学生らしい頭髪ではない。という理由でした。このことから「中学生らしい」について多くの人が考え直して欲しいと感じました。私としては一人ひとりの意見や考えが違う中で「らしい」などの濁った表現をしてしまうと一人の中学生らしいとはこれ、もう一人の中学生らしいとはこれ。と価値観の違いが生まれてしまい不満に思う人が出てきてしまうのではないかと感じました。

また、私の友達は髪の毛の乱れを防ぐために整髪料を使用したところ、注意されてしまったという話を聞きました。私は生徒手帳には清潔な頭髪と書いてあるのに整髪料をつかってはいけないと書いてあるため、矛盾していて理不尽だと感じました。

学校や先生は、このようなルールを生徒達のため、健康のためとして指導しているのかもしれませんが、一部の人にとっては苦痛に感じていたり、生徒の自由や個性を少なからず少しは奪っていることを理解して考え直すことが大切です。

世の中にあるルールを全て無くして良いかと言われたら、それはノーです。ルールには人々が安全に、快適に暮らせるように作られているものもあり、犯罪をしてはいけないなどの誰もが守らなければいけないルールもあります。国会で憲法や法律を国民の意見を取り入れながら話し合っ解決するように、学校のルールも生徒の意見を取り入れ、そのルールはなぜ必要なのか、必要ないのかを一から考え直して対話で解決していくことがとても重要です。そして全員がルールのある意味を理解、納得して日々の行動に移せば、全員が笑顔で安心して学校生活を送れるのではないかと感じました。また、校則を通して疑問に感じたものはなぜそうなのか原因、理由を考えて対処することが大切だと感じました。

私たちの生活にはルールが強く結びついており、それを守ることによって安全が

保たれています。学校のルールも全員が意味を理解し、納得しないと意味がありません。
これからの時代は自分達で自分達を振り返り、状況に応じて自分達の校則を自分達で
つくり変えていくことが必要なのではないのでしょうか。